Mizuho Daily Market Report

2024/3/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.44	150.05	▲0.48	▲0.46
EUR	1.0845	1.0857	+0.0001	+0.0013
AUD	0.6484	0.6503	▲0.0007	▲0.0041
SGD	1.3443	1.3428	▲0.0006	▲0.0013
CNY	7.1991	7.1965	▲0.0024	▲0.0014
MYR	4.7326	4.7352	+0.0127	▲0.0258
THB	35.87	35.82	+0.00	▲0.01
IDR	15779	15769	+29	+129
PHP	55.97	55.97	▲0.01	▲0.12
INR	82.92	82.90	+0.00	▲0.00
VND	24672	24693	+18	+58

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.153%	▲6.1 bp	▲15.1 bp
日本(10年)	0.707%	▲1.2 bp	+1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.323%	▲6.9 bp	▲14.1 bp
オーストラリア(5年)	3.725%	▲0.3 bp	▲4.1 bp
シンガポール(5年)	3.006%	▲0.5 bp	▲1.9 bp
中国(5年)	2.228%	▲1.5 bp	▲1.6 bp
マレーシア(5年)	3.569%	▲0.5 bp	▲2.5 bp
タイ(5年)	2.245%	▲0.5 bp	+0.6 bp
インドネシア(5年)	6.521%	+2.4 bp	+3.0 bp
フィリピン(5年)	6.080%	+0.0 bp	+0.4 bp
インド(5年)	7.081%	▲0.2 bp	+0.0 bp
ベトナム(5年)	1.650%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,585.19	▲1.0%	▲1.0%
N225(日本)	40,097.63	▲0.0%	+2.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,893.07	▲0.4%	+0.2%
ASX(オーストラリア)	4,177.42	+0.1%	▲0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,107.10	▲0.5%	▲1.6%
SSEC(中国)	3,047.79	+0.3%	+1.1%
SENSEX(インド)	73,677.13	▲0.3%	+0.8%
JKSE(インドネシア)	7,247.46	▲0.4%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,536.98	▲0.1%	▲1.4%
PSE(フィリピン)	6,905.46	▲0.7%	+0.7%
SETI(タイ)	1,359.26	▲0.2%	▲2.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,269.98	+0.7%	+2.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.83	▲0.5%	▲0.2%
金	2,128.04	+0.6%	+4.8%
原油(WTI)	78.15	▲0.7%	▲0.9%
銅	8,400.75	▲0.7%	+0.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】			
USD/JPY	149.60	―	151.00
EUR/USD	1.0740	―	1.0880
AUD/USD	0.6490	―	0.6590
USD/SGD	1.3400	―	1.3480
USD/CNY	7.1850	―	7.2280
USD/MYR	4.7160	―	4.8050
USD/THB	35.40	―	36.78
USD/IDR	15530	―	15800
USD/PHP	55.40	―	57.80
USD/INR	82.30	―	83.20
USD/VND	24,300	―	24,700

【本日の相場方向感】			
USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

ｱｼﾞｱ時間のドル円はドル円は150円台半ばでオープン。オープン前に発表された東京2月CPIで、前回値が上方修正されたものの、ヘッドラインはおおむね予想通りの結果に大きな反応は出ず。鈴木財務相の「デフレ脱却を検討している事実はない」との発言にも反応は限定的となり、狭いレンジ内での値動きとなり150円台半ばで海外時間に渡った。

ｱｼﾞｱ通貨も動意に欠ける展開。開幕した中国全人代では2024年のGDP目標などが発表されたが2023年の目標と大きく変更はなく反応は限定的となった。

海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。欧州時間もアジア時間に引続き動意に欠ける展開が継続。米州時間入り後に米金利が低下する動きを受け、150円付近まで下落する軟調な値動きとなる。続いて発表された米2月ISM非製造業景況指数ヘッドラインの予想を下回った結果を受け、ドル売りが強まり、149円台後半まで続落。その後は売り一服となり、徐々に買い戻しが入った事から、150円台前半まで戻す。米州時間午後は戻していた米金利が再び低下する動が重しとなり、再度149円台後半まで反落する場面もあったが、引けにかけては値を戻し150円近辺でクローズ。

【金利】

米金利市場は中期から長期にかけてほぼパラレルに金利低下。米州時間朝方には多数の指標が発表され、主要指標である2月ISM非製造業景況指数および1月耐久財受注などが予想を下回る数字となったことで、発表後に債券買いが強まった。パウエルFRB議長の議会証言を明日に控えていることで、後半は売り戻しも見られた。

【予想】

本日のﾄﾞﾙ円は底堅い値動きを予想。昨日の軟調な米指標結果を受け一時下落したものの、150円台まで反発しており底堅さが感じられる。パウエル議長の議会証言を海外時間に控える中、引続き150円近辺での底堅い値動きが継続するものと予想。

【本日の予定】

(アジア) 2月 ﾍﾞﾄﾅﾑ　国内自動車販売台数
(アジア) 2月 韓国　CPI
(アジア) 2月 韓国　外貨準備高
(アジア) 4Q NZ　全建物実質価値
(アジア) 4Q 豪　GDP
(欧州) 1月 ﾕｰﾛ圏　小売売上高
(欧州) 1月 独　貿易収支
(欧州) 2月 愛　新車登録台数
(欧州) 2月 独　建設業PMI
(欧州) 2月 英　建設業PMI
(米国) 1月 卸売売上高 / JOLT求人
(米国) 2月 ADP雇用統計
(米国) MBA住宅ﾛｰﾝ申請指数
(米国) ﾃﾞｲﾘｰ・ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ連銀総裁講演
(米国) ﾊﾟｳｴﾙFRB議長議会証言
(米国) ﾍﾞｰｼﾞｭﾌﾞｯｸ

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。